

ニホンアシカ って知っていますか？

ニホンアシカ

学名 *Zalophus japonicus*

英名 Japanese Sea Lion

ニホンアシカは海にすむ哺乳動物です。動物園や水族館でよく見ることができるのがカリフォルニアアシカですが、ニホンアシカは現在「絶滅の一歩手前」と言われ、はく製でしか見ることができません。

ニホンアシカは日本にしかいない種で、昔から日本人に親しまれてきました。かつては日本周辺の海にいて、「トド」「ミチ」「アジカ」と呼ばれたり、隠岐の島では「メチ」と呼ばれていました。

『古事記』（こじき）

奈良時代（今から約1300年前）に書かれた「古事記」にある神話にも登場します。「海幸彦山幸彦」という絵本でも親しまれているお話の中で、わたつみの神の宮殿で豊玉姫は美智（みちニニホンアシカ）の皮を敷いて山幸彦をもてなしたと書かれています。

出雲大社の神事

出雲大社の「相嘗の儀」（秋の収穫を祝う神事）は「みちの皮の上に膳を置いて行う」ことになっています。



『出雲国風土記』（いずものくにふどき）

奈良時代に作られ、出雲地方の地名の由来や、言い伝えなどが書かれている「出雲国風土記」にも、ニホンアシカの群っていた島のことが、「等々嶋（トドシマ）」という地名で登場します。

海驥退散を願うお札

魚をたくさん食べてしまうので漁師さんは、“龍宮尊神”にアシカが退散して、魚がたくさん取れるようお願いしました。島根県の浜田市には江戸時代のお札が残っています。

ニホンアシカのとくちょう

Q

耳はどんなかたち？

A

あたまをうしろから見た
写真です。
小さな耳があります。こ
れは、人間の耳たぶにあ
たる部分です。



↑ニホンアシカのあたま

どうやって歩くのかな？

なにを食べるのかな？

ニホンアシカの体を見てみよう！

Q

足はどんなかたち？

A

大きなひれになっています。
まえ足とうしろ足で
パタンパタンとじょうずに
歩きます。



?

アザラシとのちがい

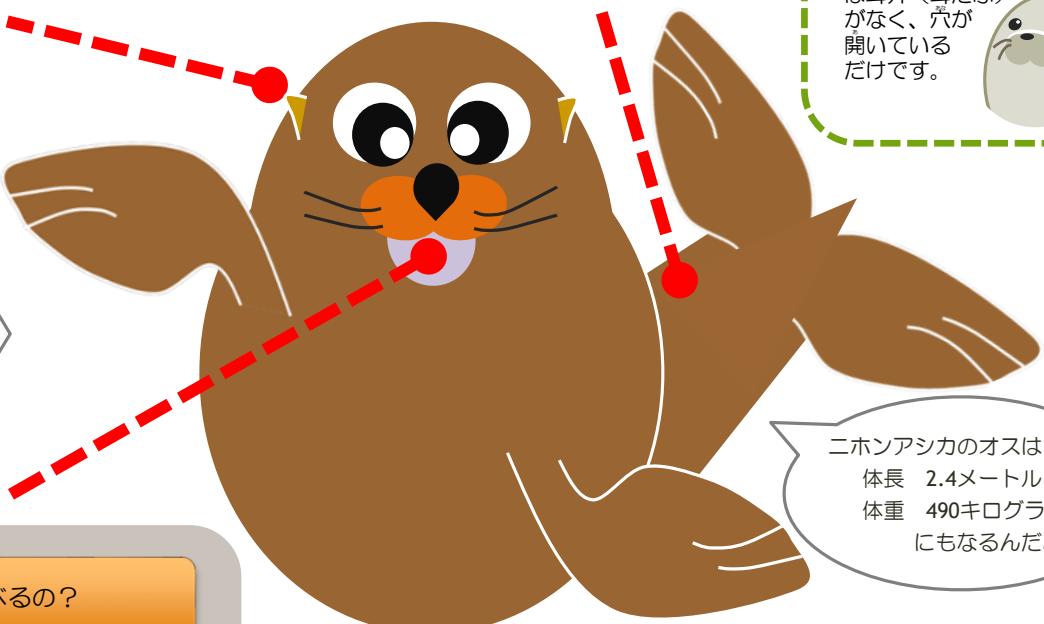
アシカのなかまと、ア
ザラシのなかまでは、体
のつくりにちがいがあり
ます。

アザラシは、まえ足を
つかい、体をイモムシの
ようにして動きます。

また、アザラシの耳に
は耳介(耳たぶ)
がなく、穴が
開いている
だけです。



ここにちは！
ニホンアシカの
「りやんこちゃん」
です！



Q

なにを食べるの？

A

タコやイカ、魚を食べます。
するどいきばがあります。
魚をとる網を食いやぶり、
漁師を困らせていました。



↑ニホンアシカの口

むかしは、たくさんのニホン
アシカが竹島に来っていました。

今では見かけることがなくな
り、絶滅したと言われています。

生きていたときのようすは、
三瓶自然館サヒメルと、しまね
海洋館アクアスで、はく製とし
て見ることができます。



↑ニホンアシカのはく製

リヤシコ大王

だいおう

ニホンアシカのはく製は現在国内
では、三瓶自然館サヒメル、しま
ね海洋館アクアス、島根大学、大
阪の天王寺動物園、海外ではオラ
ンダのライデン博物館、イギリス
の大英博物館に所蔵されていて、
合わせて15頭確認されています。



「リヤンコ大王」はオスの成獣（大人）
新聞記事によると、体長9寸5尺=288
cm、体重200貫=750kg



さんべ しじんかん
三瓶自然館サヒメルのリヤンコ大王はオス
せいじゅうろう
の成獣（大人）として唯一のものです。も
ともと天王寺動物園で保管されていました。

「リヤンコ」とは江戸時代の終わりごろに
フランス人が現在の竹島を発見して「リアンクール」と名づけたことから、山陰地方
の人たちが「リランコ」「リヤンコ」「ランコ」と言っていました。竹島でも一番大
きく力も強く、漁師さんに恐れられていたことから「リヤンコ大王」と呼ばれていました。

1934(昭和9)年、
鉄砲の名手が撃ち取
り、そのはく製が、
天王寺動物園で展示
されました。

怪偉のアシカ 遂に射撃 王 大 剥製 ごな



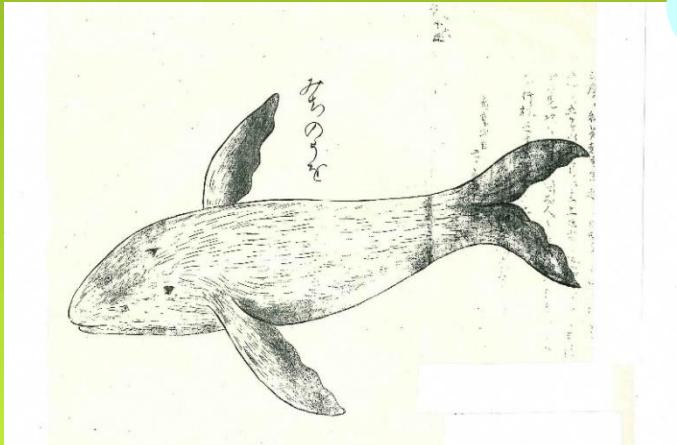
竹島とニホンアシカ

江戸時代

えどじだい
江戸時代のはじめ、鳥取県米子の商人「大谷家（おおやけ）」と
「村川家（むらかわけ）」が幕府の許可をもらい、毎年交互に鬱陵島（うつりょうとう）に渡ってアワビやアシカの漁をし、帰る途中に竹島（たけしま）でも漁をしていました。

とれたアワビを干して乾燥させて串にまとめた串アワビや、アシカの油を江戸幕府に献上していました。

江戸時代、菜種や綿花の種油は燃やして明かりにするために貴重なものでした。動物性のアシカの油も明かり等に利用され貴重なものでした。一頭から数斗の量の油がとれたという記録が残っています。（※1斗とは1升瓶10本分の量=18リットルです。）



おおやけ
大谷家にあった
古文書に書かれ
ています



三代目 九右衛門勝信
勝信代延宝九年酉五月 御巡見様御仕合第、竹島之様子收御尋問書差出事
大獻院様御代五船以前、阿部四船五船様御取扱を以竹島御領仕、其上載共より
御見立被為
御付難有奉存候事
一彼局へ年々船渡海鹿魚之油井二串燒夷務仕事
一竹島へ隱岐國島後福浦より百里余可有御底由海上之候ニ御雇候得者、徒ニハ知レ
不申事
一竹島之廻拾里余御付御領仕
敵有院様御代竹島之油井二串燒夷務仕事
廿五年以前阿部四船五船様御取扱を以并、則船渡海仕候小島ニても海鹿魚油
少室所務仕候 右之小島へ隱岐國島後福浦より海上六十里余可有御底候事
五月十三日

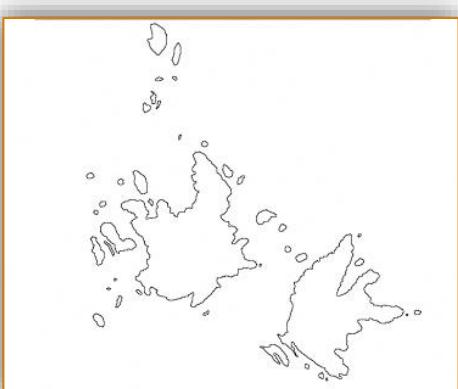
右之通御請書仕候事

（鬱陵島への）二十丁ほど
の草木のない岩
小島（II竹島）がある、この
小島でも海鹿（アシカ）の
油を少しとる



むらかわけ
村川家にあった竹島を描いた
古い絵図です。実際に竹島に
行って漁業をした人に聞いて
書かれたものです。

300年以上前の地図だ
けど、現在の地図に負
けないくらいよく書か
れているね



現在の竹島の地図です。
星から送られた画像を
もとに作成されたものです。

竹島とニホンアシカ

明治時代

島根県隱岐の中井養三（なかいようざぶろう）は、明治36年に竹島でのアシカ猟を始めました。多くの人が出漁したことで、アシカが乱獲される心配がでてきました。

そこで竹島のアシカ猟が安定して継続できるよう「リヤンコ島領土編入並二貸下願」を1904（明治37）年に日本政府に提出しました。

これを受け日本政府は島根県の意見も聞いて、竹島を島根県に編入することを決定しました。

1905（明治38）年2月22日に、竹島が島根県の隱岐島司（おきとうし）の所管になったことを、告示しました。

島根県は規則を改正して、竹島でのアシカ猟は許可を受けてすること、税金も徴収することにしました。中井養三郎は、同年に「竹島漁獵合資会社」を設立し、県の許可を受けてアシカ猟を開始しました。



沖にある岩の上に集まつたアシカ（昭和9年撮影）

アシカが上がつてくる場所を示しています。

アシカの保護のため、竹島を16の区分に分けて、4分の1を保護場にして人も船も近づかないことにしました。



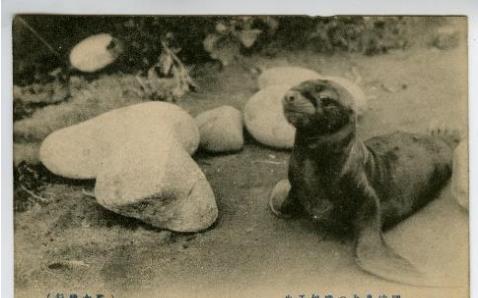
なかい ようざぶろう
中井養三郎



中井養三郎が出した
「りやんこ島領土編入並二貸下願」
(りやんことう りょうどへんにゅう ならびに
かしさげねがい)



絵はがきのモデルにもなったよ！



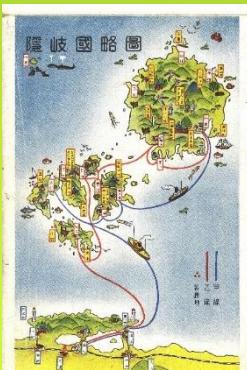
竹島とニホンアシカ

大正
昭和 時代

大正末から昭和初期になると、竹島でのアシカ猟は隠岐の久見地区の人々が中心となって行われるようになります。

アシカは、動物園やサーカスへ売られるようになり、隠岐の漁師さんは、竹島の洞窟の前に網を張り、洞窟の奥から追い出す方法でアシカを生け捕りにしました。

また、故ハ幡昭三さんの証言によると、海で泳いでいるとアシカが来て一緒に泳ぎ、魚を与え続けると、家に帰るとき陸上まで後について来てかわいかったそうです。



昭和の初めの隠岐汽船のパンフレット。竹島の近くにアシカが描かれています。



1934（昭和9）年、久見の人たちが猟をしているところ



動物園や水族館で人気者だったよ！



今も隠岐の島町久見地区のマ
ンホールのふたには、3頭の
ニホンアシカがいます。

1954（昭和29）年に、韓国が竹島を不法占拠してから、日本人は竹島に近づくことができなくなりました。そして、当時200～500頭いたとされるアシカは、1975（昭和50）年以降見つかっていません。

ふたたび、竹島でニホンアシカの元気な姿が見られることを願っています。